

No. 178
2017. 1

ねば

広報

私たちの村

人口と世帯 28年12月31日現在

総人口	976人
男	478人
女	498人
世帯数	428世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村1762
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



少年少女消防クラブ員も
消防団と同じ隊列に入り、
市中パレードに参加しまし
た。

※詳細は12ページ

1月号の主な内容

村長年頭あいさつ 2ページ
議長年頭あいさつ 他 3ページ
議会だより、十(重)大ニュース 他
..... 4～5ページ
民生委員改選 他 6～7ページ
後期高齢者医療制度のお知らせ 8～9ページ
農業者の皆さまへのお知らせ 10～11ページ
夢教室、戸籍だより 他 12ページ

年頭ごあいさつ



根羽 村長

大久保 憲 一

新年あけましておめでとうございます。平成29年の新春を迎え、村民の皆様のご健勝を心からお慶び申し上げます。また日頃から、皆様の温かいご支援とご協力によって、元気な村づくりを進めることができますことに、改めて感謝と御礼を申し上げます。本年も、村民の皆様が安心して安全に暮らせる地域を、皆さんと一緒に作ってまいり所存でありますのでよろしくお願い致します。

さて、昨年は「熊本地震」や「鳥取県中部地震」、「台風10号」、「新潟県糸魚川市の大規模火災」など甚大な災害が各地で発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さんにお見舞い申し上げ、被災地の一日も早い復旧・復

興がなされんことを願うところであります。幸いにも当村では、自然災害や火災等の発生もなく、比較的平穏な1年であり安堵するところであります。ただ、災害は「いつ」、「どこで」、「どのような形」で起こるかわかりません。日頃の防災意識の高揚と、自分達の身の回りの危険性を常に考えながら、日頃の訓練等を通じてしっかりと安全対策に取り組んでまいりたいと考えています。

さて、現在私たちの地域を取り巻く交通環境は大きく変わろうとしています。10年後の2027年には、品川と飯田を約45分で結ぶ「リニア中央新幹線」が開通し、飯田市に長野県駅が設置されます。また、遠州と南信州を結ぶ「三遠南信自動車道」も工事が着々と進んでいます。こうした大

きな交通環境の変化の中にあつて、これからは個性ある地域づくりが必要であります。地元にある全てのものを資源としてとらえ、地域で生活できる基盤を作りながら、しっかりと魅力のある地域の情報を様々な形で発信して行くことが大切であると思います。

さて、昨年1年間の根羽村を振り返ってみたいと思います。現在の役場庁舎は建設から47年が経っており、建物の耐震基準が満たされていない状況にあります。このため庁舎検討委員会や地区懇談会等で村民の皆さんの意見を伺う中で、役場庁舎を「しゃくなげ」に移転改築することに決定しました。今後庁舎建設委員会等で具体的な内容について検討を進め、結果がまとまり次第、移転準備に入りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いするところであります。また、高齢者福祉施設「ねばねの里なごみ」が、NPO建築フォーラム主催の「第11回木の建築賞」で「木の建築大賞」と「やま・もり大賞」をダブル受賞するとともに、長野県主催の「信州の木建築賞」で「最優秀賞」を受賞することができました。これらの賞では、建物そのもの

の木の木造建築の素晴らしさと共に、村独自の木材の流通方法や、地域とのつながりなどが総合的に高く評価されたものであり大変光栄に思っております。また、様々な交流体験を通じた村づくりでは、矢作川流域の皆さんや企業の皆さんとの交流事業に加え、安城市の小学生が根羽小学校で授業を体験する「山の小さな学校体験事業」を新たにを行いました。根羽の子供達の友達を迎える温かい心と、そこに安心して飛び込んで行く安城の子供達の姿に感動しました。この事業はお互いに大変好評で、今後内容を充実させ是非継続して行きたいと考えております。また、村内の企業支援や村営住宅の譲渡、村有林の貸付制度の新設など新たな定住促進対策にも取り組みました。また、小中学生の皆さんも様々な大会やコンクールなどで活躍するなど、根羽村の「誇り」と「自信」を再認識した素晴らしい1年であったと思います。

さて、当村では先人の皆さんから営々と受け継いできた森林が大切な資源であります。「トータル林業」の取り組みによって森林整備と林業振興を図りながら、木質バイオマス

利用として木質ボイラーや薪ボイラーの導入を進めています。現在「ねばねの里なごみ」では、薪ボイラーや太陽熱を利用した環境にも配慮したシステムを導入しています。今後、公共施設等を中心に木質バイオマスを利用した「地域熱供給システム」の導入に向けての調査研究も進めているところであります。こうした取り組みが、地域資源を有効に活用し環境にも配慮した魅力ある地域づくりに結びつくものと考えておるところであります。

さて、現在全国各地で人口減少が進む中で、どの地域にも人が住み続けられることが持続可能な地域づくりには必要であり、このことが「安全・安心な国土づくり」に結びつくものであると考えています。村づくりの基本として、村内での「雇用の循環」、「経済の循環」、「サービスの循環」の3つの循環の仕組みづくりと、矢作川を中心とした流域連携による地域づくりが必要であると考えています。今までの以上に流域自治体や団体、企業や市民の皆さん方との交流をしっかりと進め、根羽村の地域づくりに連携した取り組みを続けてまいりたいと考えています。

本年も村民の皆様のご意見をしっかりと聞き、村民の皆様が今まで以上に「根羽村に住んで良かった」、そして「これからも根羽村に住み続けたい」と思える元気な村となるよう一生懸命取り組んでまいりますので、村民の皆様



根羽村議会議長

石 原 明 治

のご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。平成29年が根羽村にとって、そして村民の皆様にとりまして幸多き年となることを心からお祈り申し上げ新年の挨拶と致します。本年もよろしくお願い致します。

新年明けましておめでとうございます。
平成29年の新春を迎え、皆様ご健勝のことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、村では第5次総合計画・総合戦略に基づき、地方創生に向けて様々な面で新たな取組がスタートした年でありました。

4月には、減少の一途をたどる村内の酪農維持、継承を目的に、村で初めてとなる「地域おこし協力隊」を採用し、村内の酪農家で技術を学び始めました。あわせて、農林一体の効果が期待できるとして信州大学との連携協定で検討

が進められてきた「山地酪農」についても大きな一歩を踏み出した年となりました。

先進地である岩手県岩泉町の「中洞牧場」視察や村内での調査も行われ、試験放牧地の検討も進み、農林一体の効果に加え、乳製品のブランド化、観光の面からも大きな期待を寄せるところであります。

8月には安城市教育委員会のご協力をいただき「山の小さな学校体験」が、愛知県と長野県の夏休み期間の違いを利用して実施され、安城市の小学生4、5、6年生各8名、合計24名が根羽を訪れ、小学校で実際の授業を受けました。後日のアンケート調査では参

申告相談のご案内

平成28年所得の確定申告は2月16日(木)から3月15日(水)まで(土日は休みです)となっています。今年も下表のとおり申告相談を行います。都合のつかない方は随時受付をいたしますので、お早めに申告をお願いします。

平成29年度分村県民税申告書には、住所、氏名、生年月日、配偶者等、必要事項を記入してください。(申告書の下段に氏名が記入してあります。)給与所得のみで年末調整済みの方、所得が全く無く村内にお住まいの方の扶養等になっている方は申告が不要です。

※個人で営業、請負事業等をしている方は必ず申告をして下さい。

その他ご不明な点がございましたら、役場総務課までお問い合わせください。

申告(納税)相談日程

期 日	時 間	適 用
2月16日(木)	午前9時 ～午後5時	医療費控除、住宅控除 農業等収支計算のある方
2月17日(金)		
2月20日(月)		
2月21日(火)		中央地区
2月22日(水)		北洞地区
2月23日(木)		東洞地区
2月24日(金)		南洞地区
2月27日(月)		西洞地区
2月26日～3月15日 (土日は除く)		該当日に申告出来ない方

加した児童、保護者とも大変好評でありました。

ねばねの里「なごみ」での薪ボイラー導入以降、当村でも「バイオマスエネルギー利用」への取組みについて研究を進めてきていますが、その一環として10月には北海道下川町への視察を行い、エネルギー利用をはじめ豊富な森林資源の活用現場を目の当たりにし、人と森林との関係が未永く成り立つ「森林未来都市」への思いを強くしました。

また、飯田下伊那地域に目をやりますと、リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通に向けての取組が進む中、この地

域も大きく様変わりすることが予想されます。当村では先人の努力により守られてきた森林資源をはじめとした自然環境を守り、さらに磨きをかけ「根羽らしき」「根羽ならでは」を見出す必要があります。

昨年度の村の取組の一端を振り返ってみました。本年も村の発展のため、一層の努力をしてまいれる所存であります。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多き年となることを心から祈念いたしました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

最優秀賞受賞!

長野県が今年度創設した県内の優れた木造建築物を表彰する「信州の木」建築賞の最優秀賞に根羽村高齢者福祉施設ねばねの里「なごみ」が選ばれました。同建築賞は、県産材を利用した建築物を表彰することで県民に木造建築の魅力を発信し、普及させるため長野県が創設したものです。地域材100%の使用や自然エネルギーの利用などの各項目で高い評価を受けました。



議会だより

12月定例会

一般会計補正予算等

12議案について審議

12月13日・19日の2日間にわたり、12月定例会が開催されました。内容については、次のとおりです。

一般質問

◆南木一美議員

質問 まち・ひと・しごと創生総合戦略と人口ビジョンに関して

回答 この4月からまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、4つの基本目標を掲げそれぞれ具体的な施策に取り組んでいる。年度内には、総合戦略会議で本年度の事業評価を行い、新たな課題や問題点について検討していく。

人口ビジョンについて村では2060年の人口を650人程度の確保を目指す計画を策定している。根拠としては出生数が年3人程度の維持に併せて毎年1～2家族の方が転入することで一学年5人程度を設定している。また、地区ごとの人口推移も検討した経過があり、根羽村は地域がコンパクトにまとまっており、

に開催していく。

②村では現在、なごみで慈恵会のPTに依頼し、月2回実施し、現在6名の方が理学療法を受けている。PTの常在について、現状では需要に対して対応できている。今後、状況によっては回数を増やすなり、常在についても視野に入れつつ、当面は今の形で対応していく。

質問 林業・森林整備に関して
①循環型森林経営と森林資源量の把握について

②森林ゾーニングと施行方法に関して

③森林づくり専門員について

回答 ①現在村での施行体系は択伐方式で伐採し、木材を利用する方法を主体的に行っている。将来的には、一定の面積を毎年皆伐し植林・保育、適正な伐期での伐採を繰り返しい、資源の維持をしていく循環型森林経営を目指す必要があると考えている。また、森林資源量の把握について国の交付金事業を活用し、長野県の林業コンサルタントへ委託している。この調査によって森林の基礎情報を作成し森林資源の解析などを行っている。

②村では、森林整備計画を定め、基本方針に基づいて森

林づくりを進めている。これからの森林整備は農地や住宅に連続した里山林、木材を生産する生産林、環境整備に重点をおいた環境林として整備していくことが必要である。単独で様々な事業を実施するのは費用面でも困難であるので補助事業を活用しながら進めていく。

③森林づくり専門員の導入について、村でも必要性は感じている。今後、専門の方と連携した取組、或いは信州大学農学部と事業連携していることから人的な交流も視野に入れ将来的には導入についても検討していく。

◆坂巻秀高議員

質問 情報公開と個人情報情報の取り扱いについて

回答 根羽村の情報公開条例は平成11年4月から施行し、この条例に基づいて対応している。また、個人情報保護法について平成12年4月から施行し、これに基づき運用している。

◆下井敦志議員

質問 村の学校教育の今後の方針について

回答 根羽村の教育行政を進める基本方針となる教育大綱を本年の6月に制定し、これに基づいて事業を進めている。

小規模校のメリットを最大限に活かした取組を実施していくことが必要であり、地域に根ざして子供たちの成長や学力の向上を図るため魅力ある学校教育をこれからもより充実していく。また、小中一貫教育について県の教育事務所の方に出席頂き、勉強会等行っている。今後、小中学校と連携する中で先進事例を視察し方向性を示していきたいと考えている。

◆原 光史議員

質問 空家対策特別措置法にどのように対処していくか

回答 平成27年2月に空家対策の推進に関する特別措置法が施行され、5月から完全施行されました。当村では空家対策の計画策定や協議会の設置は行っていないが、今後必要であれば検討し対応していく。大切なことはこの特定空家になる前に有効に活用することが望ましいと考えている。

条例

◆根羽村議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例